



三井住友信託銀行がもしもしホットライン＜4708＞株式の大量保有報告書を提出



もしもしホットライン＜4708＞について、三井住友信託銀行が9月4日付で財務局に大量保有報告書（5%ルール報告書）を新規提出した。

提出理由は「信託業務において、株券等の取得・処分の権限を有するもの。退職給付信託の信託財産として取得、保有しているもの。投資一任契約において、株券等の取得・処分の権限を有するもの。発行会社との総合取引推進のため、安定株主としての長期投資目的で保有するもの。」によるもの。

報告書によると、三井住友信託銀行のもしもしホットライン株式保有比率は、5.05%と新たに5%を超えたことが判明した。

報告義務発生日は、2015年8月31日。